



なぜ人は詐欺から抜け出せなくなるのか

欲望・認知・執着が織りなす「心理の罠」と、TAOISMの金融観

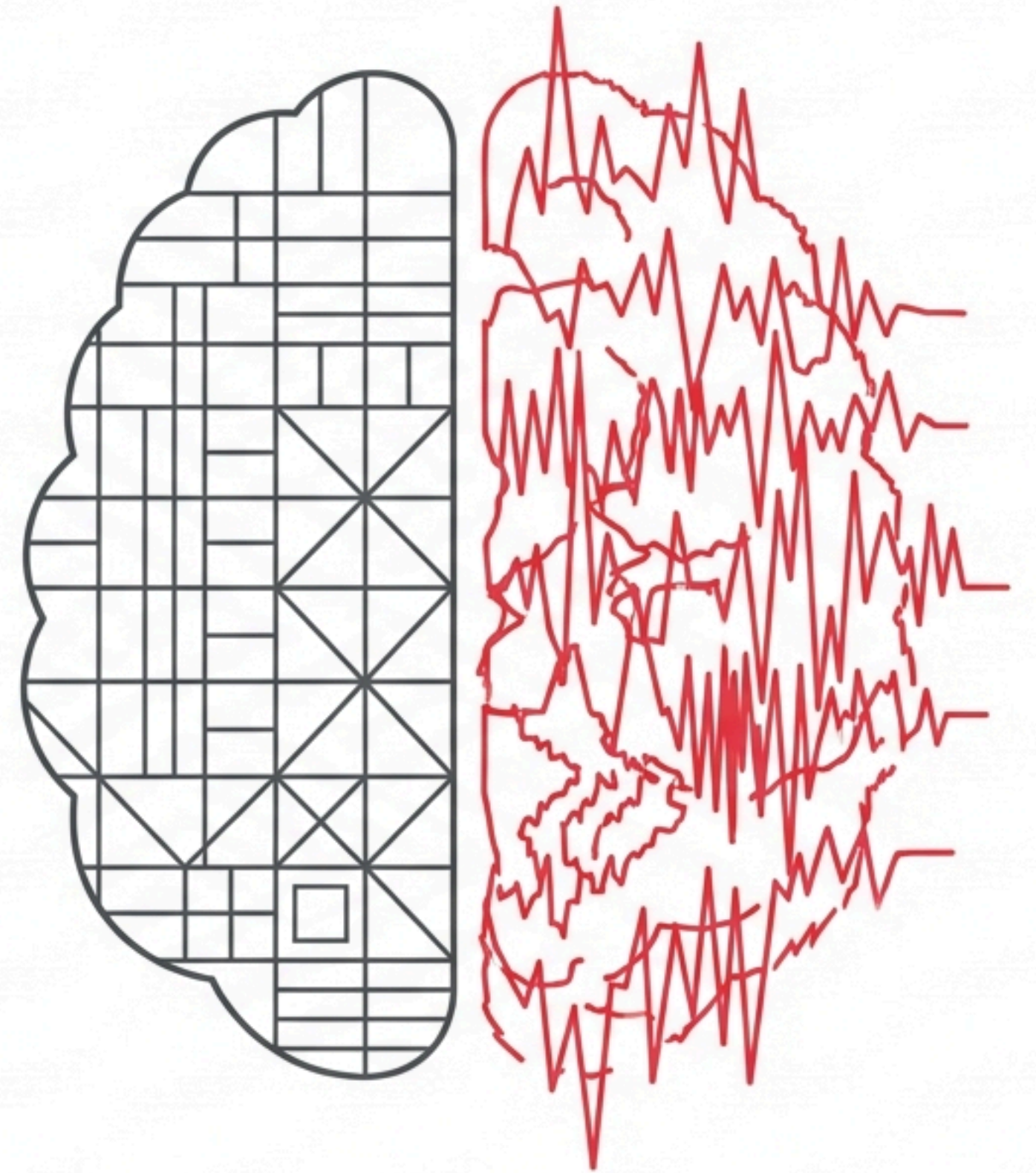
Publisher: TAOISM | 2026年3月18日

「自分だけは騙されない」という最大の罠

詐欺に巻き込まれ、抜け出せなくなる背景には、特定の「思考回路の構造」が存在します。

「自分は賢明だ」と思っている人でも、人間の脳が完璧な判断を下せない以上、誰でも無意識のうちに判断を歪められる可能性があります。

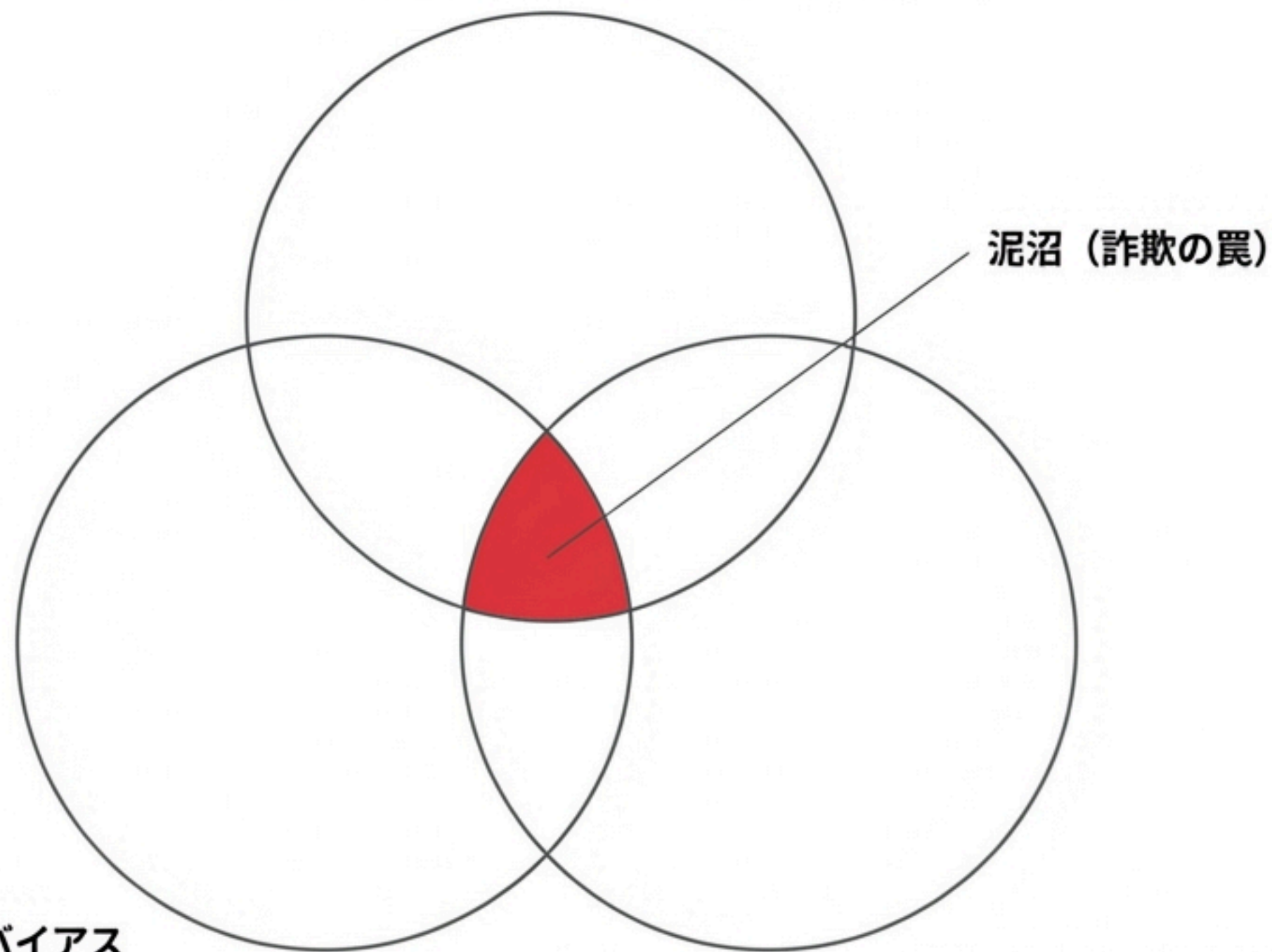
詐欺は知能の問題ではなく、心理的バイアスの問題である。



誤った道へ導く「3つの心理構造」

人が誤った道に進むとき、主に3つの要素が複雑に絡み合っています。これらは単体でも強力ですが、重なることで抜け出せない罠となります。

【欲望】 = ロッタリー効果 (宝くじ効果)



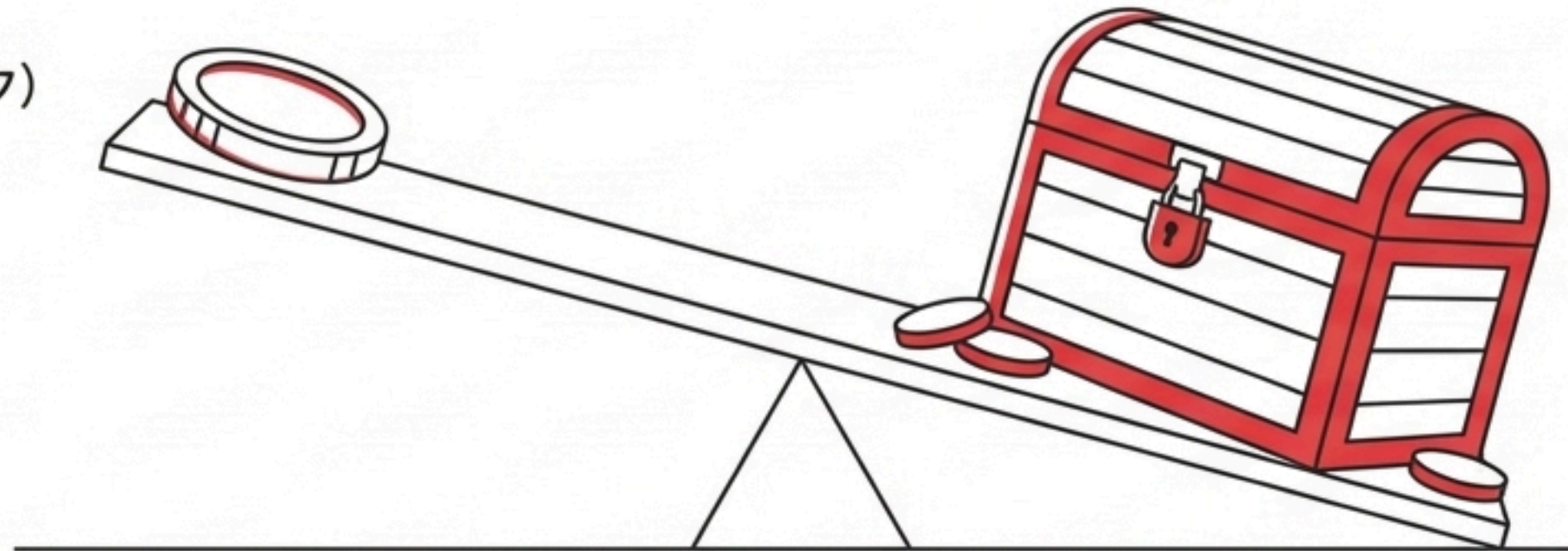
泥沼 (詐欺の罠)

【認知】 = 自信過剰バイアス

【執着】 = コンコルド効果 (サンクコスト効果)

罨①【欲望】：ロッタリー効果

小さなコスト（低リスク）



莫大な利益（非現実的）

（心理）

人は「小さなコストで大きな利益を得られる可能性」に強く惹きつけられます。「当たれば大きい、外れても少額」という心理です。

（事実）

米国の低所得層では、宝くじを積立貯金のような感覚で購入する人が多いと言われています。

（結論）

投資詐欺の多くは「一攫千金」をうたいます。しかし、一夜にして大金を手にする可能性があるものは投資ではなく、ただの「宝くじ」です。

罣②【認知】：自信過剰バイアス

人間には自分の能力を過信する傾向があります。自分で選んだもの・決めた判断を大切にすぎるあまり、後から間違いだと分かってても、それを認めることを拒否してしまいます。

投資における現れ

投資の世界では「損切りの遅れ」として現れます。「最初は大丈夫だった」「自分の判断は間違っていない」「まだ戻るはずだ」という妄想が、事実を見る目を曇らせます。



罣③【執着】：コンコルド効果（サンクコスト効果）

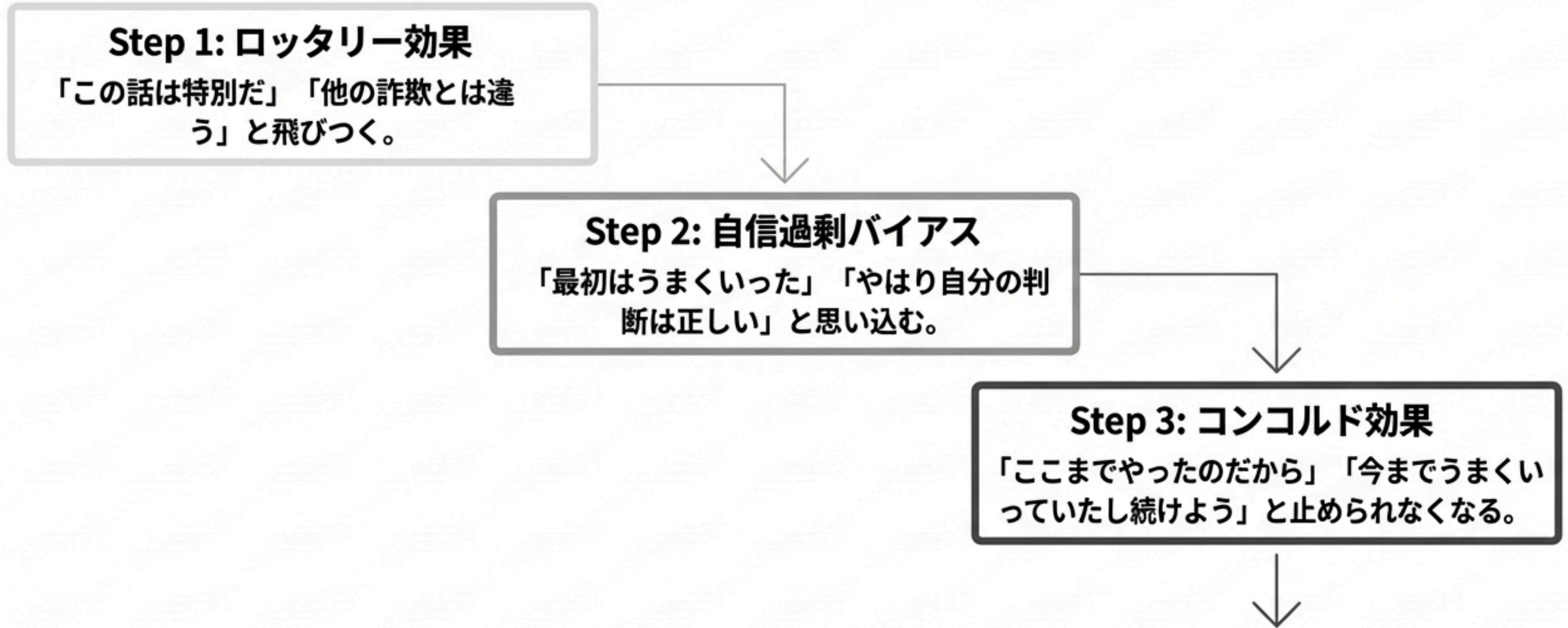


すでに投資してしまったもの（時間・お金）が無駄になるのが嫌で、損失が確定しているにもかかわらずやめられない状態を指します。

投資における現れ

負けを取り返そうとして、無謀にもレバレッジを上げる危険な行為の根源です。冷静に見れば危険ですが、「ここまでやったのだから」という心理が合理性を破壊します。

負の連鎖：3つの心理が重なるとどうなるか



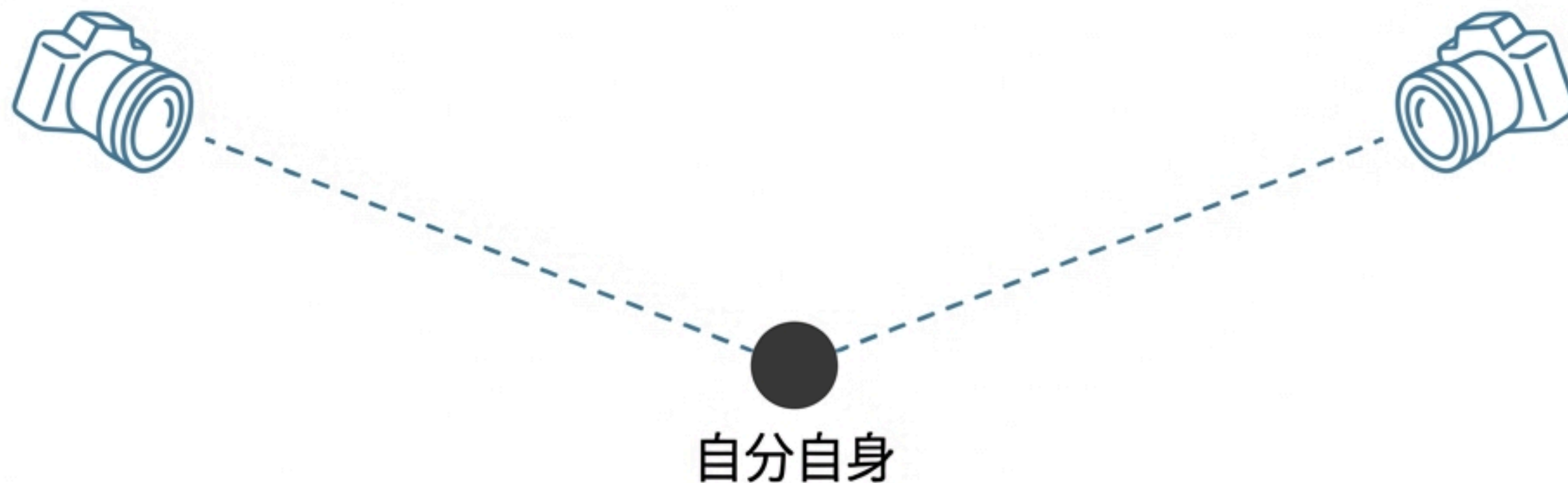
結果：自分でも気づかないうちに判断が歪み、最終的に抜け出せない【泥沼（全損）】にはまる。

現実の直視：「一攫千金の幻想」と「投資」の違い

	宝くじ・詐欺案件	投資・資産運用
【目的】	一攫千金・非現実的なリターン	資産の着実な形成
【時間軸】	1日～極めて短期間	長い時間をかけた積み重ね
【リスク】	全損を覚悟する「遊び」	許容範囲内で管理・撤退する「ビジネス」

宝くじを買う感覚で全損を覚悟して手を出すなら自由です。
しかし、それを「資産運用・ビジネス」だと思い込んで手を出してはいけません。
ほとんどの億万長者は、突然億万長者になったわけではないのです。

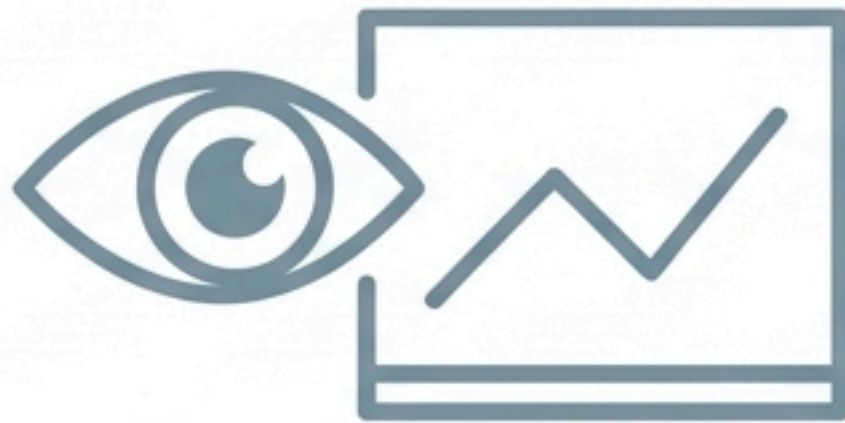
処方箋：判断の歪みを整える「客観視」



人間である以上、完璧な判断を下すことは不可能であり、誰でも無意識に心理の罠に落ちる可能性があります。だからこそ、システムとして「客観視」を取り入れる必要があります。

**詐欺から身を守り、裁量トレードを生き残るためには、
自分を外側から観察する「2つのレンズ」が必要です。**

歪みを正す「2つの視点」



【ノーポジ視点】

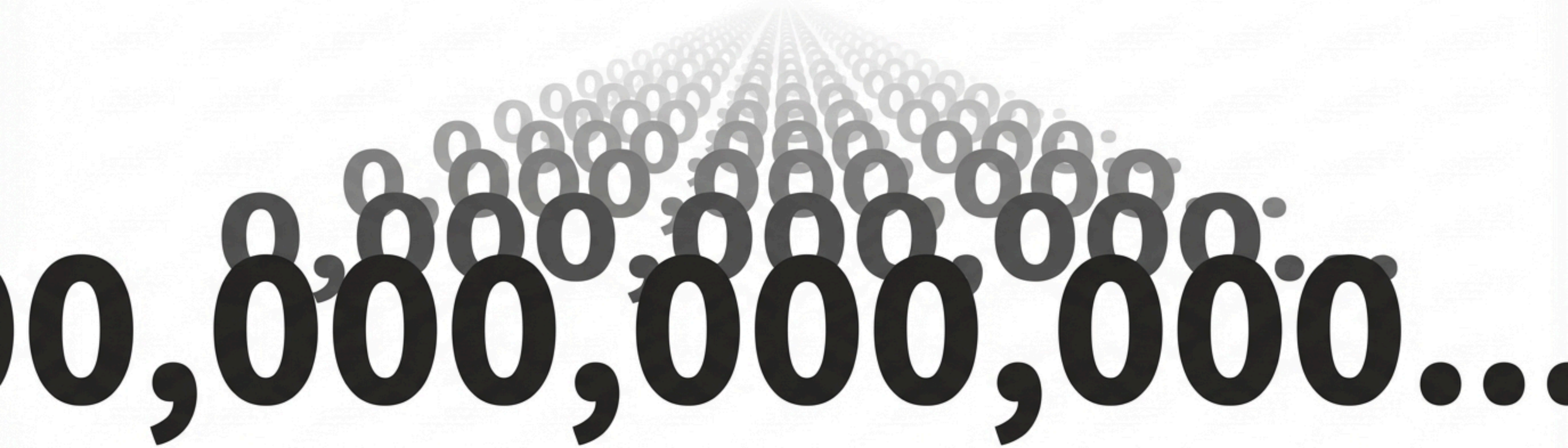
「もし自分が今、何も持っていない第三者（ノーポジション）だったら、この状況でどう動くか？」と自問する。執着を切り離すための視点。



【逆ポジション視点】

「もし自分が、今持っているのとは『逆のポジション』を持っていたら、このチャートや状況をどう判断するか？」と自問する。自信過剰を疑うための視点。

ゴールなきレースの危険性

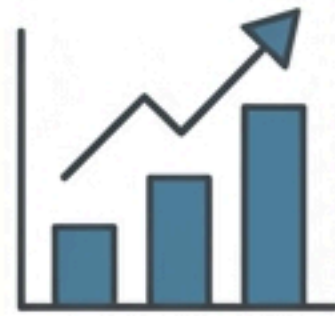


投資において最も危険なのは、目標を設定しないことです。
ゴールがないと、人は「果てのない数字」を追い求め続けることになります。

数字を追うだけのゲームは、いつか必ずすべてを失うリスク（全損）を孕んでいます。
金融の世界に触れる以上、最後は「きっぱりと手を引く」引き際が不可欠です。

金融の世界の「2つのステージ」

金融には、明確に異なる2つの段階が存在します。
大切なのは、自ら「ゴールを決めてテープを切ること」です。

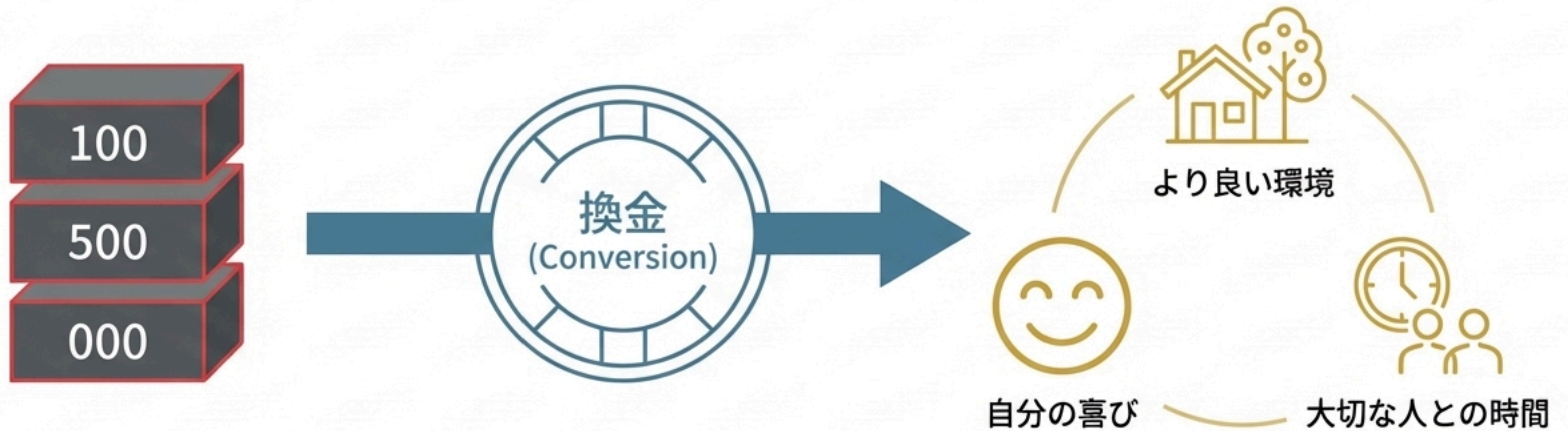


ゴールテープを切るまでの金融
(資産を築くフェーズ)



ゴールテープを切った後の金融
(資産を活かすフェーズ)

TAOISMの金融観：「数字」から「豊かさ」への換金



お金は、人生を豊かにするための道具です。目標到達後は、ただ数字を増やすことよりも、自分の喜び、環境、そして大切な人との時間へと「換金」していくことが本来の豊かさです。

「数字を追い続ける人生ではなく、人生を豊かにするために数字を使う人生へ。」

Key Takeaways

- 詐欺の泥沼は「欲望・認知・執着（ロッタリー・自信過剰・コンコルド）」の3つの心理バイアスの重なりから生まれる。
- 完璧な判断は不可能。常に「第三者の視点」「逆ポジションの視点」を持ち、自分を客観視する。
- 果てのない数字を追わず、明確なゴールを決め、得た数字を「豊かな人生」へと換金する。

人生を豊かにするために数字を使う人生。

